

後輩指導力の向上と中堅・ベテラン従業員の役割

コースのねらい

中堅・ベテラン従業員がこれまで培った経験を活かした後輩従業員を指導するためのコーチング法の知識と技能を習得し、職場の課題解決に向けた先導的役割を理解する。

		「基本項目」	「主な内容」	訓練時間 (H)
講義内容	1	職場の目標	(1) 職場の課題の把握(講義とワークショップ) 講義 『職場の課題とは』 ・職場の課題とは(ありがたい姿から現状を見る) ・課題分析の手法 グループ討議 『職場の課題』(事前課題の発表)	1.0
		求められる役割	継続雇用者に求められる役割(講義とワークショップ) グループ討論 『シニア社員に求められる役割』(事例研究) 個別作業 ・自身のシニア像を考える(ワークシート) ・キャリアプラン、ライフプランの作成 ・シニアに向けた目標設定	2.0
		ティーチングを活用した指導法	ティーチングを活用したOJT(講義とワークショップ) 講義 『人はいかに育つか』 ・人財育成の3つのポイント ・若手人材の育成の方向性 ・ティーチングの基本 ・ティーチングの進め方(ステップ) ・ティーチングのスキル グループ討議 『効果的なティーチングをどう進めるか』	2.0
		コーチングを活用した指導法	コーチングを活用したOJT(講義とワークショップ) 講義 『人材を育成するコーチング』 ・コーチングの目的 ・コーチングの心構え ・コーチングのスキル 個別作業 『指導力向上に向けたアクションプランの作成』	2.0
				合計時間

カリキュラムのポイント

中堅・ベテラン社員が蓄積した知識・技術・技能を発揮し、上司・後輩を上手にアシストしチームとしてのパフォーマンス向上を実現するために必要な考え方や技能を、講義とワークショップ、演習を通して学習していただきます。